

第1回中先端医療技術交流会

2015年9月24日、北京大学スタンフォードセンター

日中先端医療技術交流会は、両国の大学・研究機関・医療機関の豊富で優れた研究成果をよりどころに、広く社会・産業界、政府・行政機関等の参画を得ながら、技術交流を進める。第1回交流会では、日本で実績のある粒子線がん治療技術を中心に技術交流を行った。冒頭のあいさつは、大倉会長が訪中できなくなったため、國友 TeFFA 副理事長が代理を務めた。

中国からは北京大学でのレーザープラズマイオン加速器の研究と北京中央病院での放射線治療についての報告があった。日本からは陽子線と重粒子線によるがん治療の実績とその将来展望をプレゼンした。

交流会の締めくくりに、交流会の主催者が今後の協力についての MoU (Memorandum of understanding) に署名した。



